

平成十九年九月十八日受領
答 弁 第 八 号

内閣衆質一六八第八号

平成十九年九月十八日

内閣総理大臣 安倍 晋 三

衆議院議長 河野 洋 平 殿

衆議院議員鈴木宗男君提出北方領土墓参団が国後島ラシコマンベツ墓地への上陸を拒否された件に関する
質問に対し、別紙答弁書を送付する。

衆議院議員鈴木宗男君提出北方領土墓参団が国後島ラシコマンベツ墓地への上陸を拒否された件に関する質問に対する答弁書

一、三、五及び八について

お尋ねについては、平成十九年八月二十一日、ロシア連邦政府より外交ルートを通じ、御指摘の墓参団の訪問予定地のうちラシコマンベツ墓地への上陸訪問について、ロシア側内部における調整がつかず実施できない旨の連絡があり、御指摘の墓参団の同墓地への上陸訪問が中止となったものである。ロシア連邦政府当局は、ロシア側内部における調整がつかなかった具体的理由を明らかにしていない。

外務省としては、御指摘の墓参団の訪問に関するロシア側との手続を適切に行っており、御指摘のような「不手際」があったとは考えていない。

二について

御指摘の墓参団には中村和彦欧州局ロシア課首席事務官が同行した。

四について

お尋ねについては、外務省欧州局ロシア課の職員が、北海道新聞社の取材に対し、外務省として、訪問

先の地名の通報を含め、御指摘の墓参団の訪問に関するロシア側との手続を適切に行った旨説明したものである。

六について

外務省において調査した範囲では、北方領土墓参団が天候及び航行上の理由以外により予定していた上陸訪問を行うことができなかった事例は確認されなかった。

七について

外務省としては、北方領土問題が未解決である現状において、故郷訪問を願う元島民の切なる想いを実現するものとして北方領土墓参事業を重視しており、今回、ロシア側内部における調整がつかず、御指摘の墓参団のラシコマンベツ墓地への上陸訪問が中止になったことは遺憾である。

九及び十について

外務省として、ロシア側に対し累次にわたり、故郷訪問を願う元島民の切なる想いにこたえ御指摘の墓参団のラシコマンベツ墓地への上陸訪問を実現するよう強く働きかけるとともに、同上陸訪問の中止について遺憾の意を申し入れた。